

地元を誇りに思っていてほしい



鈴木亜由美

株式会社クリエイティブオフィスキュー代表取締役/プロデューサー
北海道小樽市出身。

1992年に芸能プロダクション「クリエイティブオフィスキュー」を設立。同事務所には、大泉洋らTEAM NACSが所属、個性派俳優を抱え全国へ活躍の場を広げる。北海道の食、観光、地域産品など様々な魅力を映像を通じてライフスタイルとして全国に伝えたいという思いから映画『しあわせのパン』(2012年1月公開)を企画。映画『ぶどうのなみだ』は“北海道映画”第2弾となる。

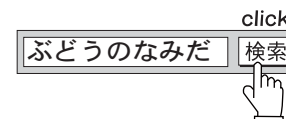
地元を愛していますか？
地元を誇りに思っていますか？
私たちのふるさと、岩見沢。
ここには素晴らしいものがたくさんあります。
住んでいるからこそ、気が付けないこと。
移り住んだ時には良いな、と感じていたこと。
空知、岩見沢が舞台の映画『ぶどうのなみだ』。
この映画をきっかけに地元の良さを再発見しませんか。



岩見沢市をはじめ、空知を舞台に撮影された映画『ぶどうのなみだ』が、いよいよこの秋に公開されます。
公開の前に、この映画を企画した鈴木亜由美さんに、お話を伺いました。
市内では、映画公開に併せて、鈴木さんの講演会や、先行試写会が行われます。

北海道・空知。父が遺した小麦畑と葡萄の樹のそばで、兄のアオはワインをつくり、年の離れた弟のロクは小麦を育てている。かつて東京へ出たアオは、夢破れて故郷に戻り“黒いダイヤ”と呼ばれる葡萄ピノ・ノワールの醸造を繰り返しているが、なかなか理想のワインはできない。そんなある日、キャンピングカーに乗ったひとりの旅人が、突然ふたりの目の前に現れた。エリカと名乗る不思議な輝きを放つ彼女は、アオとロクの静かな生活に、新しい風を吹き込んでいく・・・

ぶどうのなみだ
北海道先行ロードショー
10月4日(土)
全国ロードショー
10月11日(土)
出演 大泉洋 安藤裕子 染谷将太 ほか
監督・脚本 三島有紀子「しあわせのパン」
企画 鈴木亜由美



映画にかける思い

北海道に住んでいる人間として、北海道で長く残せる映像を作りた、そう考えた時に、地元の人といろいろ話して、地元で根差したストーリーを映画の中に組み入れたいという思いがありました。

前作『しあわせのパン』も、実際にあるカフェに移住してきた夫婦が居て、その周りに居る人たちとのストーリーを元に映像化されています。

今回の舞台となった空知は、三笠市の山、ワイナリーさんとの出会いがきっかけでした。北海道にこんな



おいしいワインがあるんだと感動して、そこから北海道ワイナリー巡りを始めたんです。ここ岩見沢の宝水ワイナリーも、ヨーロッパのような広いぶどう畑の素晴らしい景色に感動しました。

映画のストーリーは、山、ワイナリーのご家族からインスパイアされて書き起こされたものですが、映像化するにあたり作品の世界観とマッチしたのが宝水ワイナリーだったので、撮影にご協力いただくことになりました。

まず映画で表現したいのは、北海道の食です。前作『しあわせのパン』でも、月浦ワインが登場しています。が、北海道小麦100%のパンと、北海道産チーズや地元の野菜などがトータルでうまく見せられたら良いなと考えました。北海道には素晴らしい食材がたくさんあります。食をテ



© 2014『ぶどうのなみだ』製作委員会

継続することの大切さ

何事に置いても一番大事にしたいと思っていることは継続性、続けるということなんです。

自分たちが生きていられるのは、周りの方がいてこそなんです。家族や地域、会社や友人、その中で私たちが生活できていて、好きなことやらせていただいている。大事なものは、一過性のもではなくそれを長くやっていくことなんだと思っ



すよね。私たちが、会社を上場企業にしていきたくいとか、世界進出したいとか、そういうことを考えたことは全然なく、いかに北海道で継続して、いかに我々が地元の人たちと一緒に楽しんでいけるかを追求しています。その上で北海道の魅力を伝えたいと思うと、食や観光がやはり欠かさないですね。エンターテインメントがきっかけとなって様々な方と手

直接向き合うということ

を携えて、オール北海道でものづくりをさせていただくしかないと思っています。

物を作っている方たちの想いはフィルターに通すと何か曲がって伝わりがちだと思っんです。ちよつと違う風に伝わってしまつというか...。私たちが表現するうえで、その方の想いと私たちの想いを融合させて、アウトプットするということに取り組んでいきたいですね。

今回の映画も、地元の空知で野菜を作っている方やワイナリーの方々のお話をたくさん聞かせていただいたんですね。それを誰かに代わりに聞いてもらつたのではなく、私たちが直接生産者さんのところに足を運んで、彼らの想いをしっかり聞いた上で、我々も作品や北海道への想いを彼らにお伝えして、映

マにした映画というのは、北海道の魅力伝えるには切り離せないと思っっています。

一見ワインやパンは日本的ではないように感じますが、それに合わせた風景も、今まで見てきたような分りやすい北海道から、北ヨーロッパの風景のような新鮮な印象をこの土地は与えてくれています。北海道というと海産物、じゃがいも、ジンギスカン、雄大な自然、動物など、ある程度固定観念があると思っのですが、それ以外にも、もつと素敵なものがありますよということとを伝えたいですね。新しい北海道の食と風景のマッチングというよなことは続けていきたいと思っっています。

農業と人生

今回は特に、土にこだわりました。土のにおいがするようなテロワールを意識した映画にして行こうと監督と話して、人が生きていくうえで農業無しでは考えられないという思いから始まりました。人は最後には土に還りますし、土をテーマにした中で、種をまく人が居て、



※テロワール...作物に影響を与える、その土地や気候、風土など生育環境の特徴。

画作りに参加していただくことを大切にしました。

ある岩見沢の新規就農者さんのところに行つて、まず想いを聞いたんです。どうして有機にこだわっているのかとか、なぜ岩見沢なのかとか。彼らの想いを聞いたことで、本当に大事に育てているトマトを私たちの映画で使わせてほしいという話をさせていただいたら、喜んで話をつけてくださつて。トマト一つもキャストなんですよね。

私はそういう想いで、自分で足を運んで、直接話をさせていたいたい、顔の見える映画作りをしたいなと思っっているんです。それはこれからも続けたいと思っっています。

映画以外でも、我々は、直接お話しできる環境に常にあると思っっています。土地を知り、人を知る。その上で我々ができることは何なのかを一緒に話をし、一緒につくりあげることをしていきたい。きっかけ作りには、まずちゃんと向き合



岩見沢というまち

うということを大切にしていきたいと思っっています。



© 2014『ぶどうのなみだ』製作委員会

芽が出て、花が咲いて実になるという当たり前のことを農家さんや祖先がやってくれている、種まきの大事さを改めて感じています。それを一番近くに感じられる農業は、人が生きていく上で基本的なことなんですよね。

農業に限らずなのですが、祖先の人たちがいる種をまいてやってくれたこと、いっぱいあるんですよ。そういう種をまいてくれた人たちを大切に、自分たちが次の世代の人にバトンをちゃんと渡せるように、実をつけられるように伝えていきたいですね。実がなつたら、またどうやって種を採つて、また次の新しいものに変えていくとか、そういう部分で農業は人生に似ていると思っますし、繰り返し繰り返し循環していくことを映画で表現したいと思っっていました。

岩見沢には以前から足を運んでいます。北海道グリーンランドはかつてトクイイベントで毎年来ていましたね。でも意外と地元の方とじっくりとお話したことはあまりなかったかもかもしれません。岩見沢には、おあらかじめ、温かい方が多いなっというイメージはすごくありましたね。撮影中ご飯食へに行つたりすると、必ず声かけていただいたり、楽しみにしてるよって



© 2014『ぶどうのなみだ』製作委員会

素晴らしいワイナリーがあるけれど、ワイナリーに隣接するようなレストランが少ない。地元で作られたワインとそれに合わせた岩見沢の小麦を使ったパンを窯で焼いて、地元の野菜をふんだんに使ったお料理をこの景色の目の前で食べられるようなレストラン。そういうところがあると、すごく良いなと思いますよね。

夏フェスJOIN ALIVEを通じて、若い人の中で、岩見沢という地名や、空知というエリアはかなり認知されてきていると思います。できれば、もっと外の人を受け入れる、移住推進を積極的に行うことも良いと思います。移住者は新しいアイデアや新しい視点で新たな魅力の発見を教えてください。新規就農における、若い人の農業の考えは



を探してほしいと思います。映画から改めて見つける魅力もあると思うので、この機会に、ぜひ再発見していただきたいと思っています。我々が住んでいるところは、こんなに素晴らしいんだっていうことを再認識した中で、次に、地元で何をやるかというのを、今度はここに住んでいる皆さんが考えてくださればと思っています。映画は一つのきっかけだと思っています。今後、『ぶどうのなみだ』に続く第3弾が実現できたら、空知の方々にバトン渡ししてもらいたいと思っています。実は、今回のロケ中に洞爺の皆さんが撮影現場に沢山の差し入れを持って駆けつけてくださいました。ロケ地だけでなく洞爺から空知への人の想いのバトン渡しですよ。それぞれの地域に点在している想いがつながっていくと、地元だけで映画づくりも可能になっていくと信じたいです。私は北海道に生まれ、育ったことと、この地で生活していることを誇りに思っています。皆さんにもその想いで、それぞれが魅力を発信していったら素敵だと思います。

面白いですし、新しい気付きを与えてくれますよね。この映画を上手くきっかけにもらって空知の良さを伝えて、空知に住みませんか、岩見沢に住みませんかと伝えることが新しい一歩だと思っています。

自分たちの映画と言ってほしい

（映画しあわせのパン）の撮影地である洞爺では、平成12年の有珠山の噴火があり、その後サミットに期待していたところにリーマンショックがありました。そんな時に映画の相談をしたところ、皆さん光が見えたと言って笑顔で協力してくださいました。公開の時も、俺たちの映画と言って全国的に宣伝してください。

その結果、公開後にたくさん観光客が洞爺に訪れたんです。まちが元気になった、ありがとうって喜んでくれたことが本当に嬉しかったです。今度も、ロケの時に地元



© 2014『ぶどうのなみだ』製作委員会

の皆さんが協力してくださいました。しあわせのパンの時にすごく似ていると感じました。

ロケ現場は、映画のテイストとは違って和やかだったし、笑いが絶えない現場だったような気がします。撮影スタッフは割と東京の方が多かったのですが、まずこの風景を見てびっくりしていたのと、心が癒される皆さんおっしゃってました。スタジオ内での撮影が多いですが、この空知の自然の中で作品作りできることで癒されていたんだと思います。あと、地元の方のおもてなしの気持ち嬉しかったです。ワインの差し入れをいただいて、ロケ終わりにホテルで飲むことを楽しみにしてい

地元を誇りに思えるように

ましたね。他にも夜中や朝早くから常にロケにお付き合いたいだいて、一緒に汗かいてくださったことが本当に嬉しかったです。一緒に作った映画は、まさに自分たちの映画に成り得ます。岩見沢市の皆さんもそうですし、空知の皆さん、そして道民の皆さんに、俺たちの映画だ、私たちの映画だと言っていただきたいと思います。ロケ地として北海道で撮影されるということも大切ですが、私はやっぱり、地域の方々と一緒に向き合っ作られる映画こそが、自分たちの映画と言ってもらえるものだと思います。

監督に「空を知ること」と書いて「空知」という言葉が、ホントにキレイですねって言うていただいたのがまず嬉しかったです。まず地元の人、自分の住んでいるところを誇りに思っていてほしい。それが一番だし、我々にとって何よりも嬉しいことです。何よりも、自分の土地の良いもの

新しい発見をしたとき、どこか遠くへ出かけたり、新しくできた場所に行ったりしてしまいがちです。日頃、この地元の風景を見慣れている私たちは、そこに何か新しいものを見つけようと思うことは少ないのではないのでしょうか。いつももの風景を切り取るというふうなる。こういう見方をすれば新しい発見につながる。今回の映画と鈴井さんの想いは、私たちが何かに気づき、感じるためのきっかけを与えてくれたのではないのでしょうか。皆さんも、地元の良さを再発見し、掘り起こしてみませんか。

映画「ぶどうのなみだ」空知先行試写会に招待

10月4日(土)の北海道公開に先駆け、先行試写会が行われます。この機会に市民の皆さんも映画「ぶどうのなみだ」を鑑賞しませんか。なお、座席数に限りがありますので、鑑賞できる方は抽選により決定します。抽選結果は、返信用はがきでお知らせします。

日時 9月22日(月) 午後6時開場、6時30分上映
会場 まなみーる市民会館(9西4)
対象 空知管内に住んでいる方
応募方法 往復はがきに左のとおり記入し、郵送(1通で2人まで応募可)
当日は、必ず当選はがきを持参してください。また、駐車場に限りがありますので、公共交通機関でお越しください。
問合せ 市観光物産振興課

鈴井さんによる講演
鈴井さんの地元に対する熱い想いを聴きませんか。

【地域再生フォーラムIX】
日時 9月2日(火) 午後2時10分～3時30分
会場 まなみーる文化センター(9西4)
演題 ぶどうからワインへの再生物語と北海道映画のこれから
問合せ 空知建設業協会(8西3) ☎23局1836

【北海道医学検査学会 招待講演】
日時 9月28日(日) 午前11時45分～午後0時45分
会場 まなみーる市民会館(9西4)
演題 空を知り、土地を知り、人を知る
北海道のテロワールの価値と可能性
問合せ 市立三笠総合病院臨床検査部(三笠市宮本町489)磯部さん ☎(01267)2局3131

往信用表面	返信用裏面
往復はがき ☎068-8686 [往信]	ここには何も書かないで ください
返信用表面	往信用裏面
往復はがき [返信]	・郵便番号 ・住所 ・2人までの氏名(フリガナ) ・電話番号(昼間連絡可能なもの) ・映画へのメッセージ 応募者の郵便番号、住所、氏名を記載

岩見沢市鳩が丘一丁目一
岩見沢市経済部観光物産振興課
「ぶどうのなみだ」空知先行試写会申込